

別紙資料

「平成28年度第1回地域部会」
平成29年1月30日配布 資料 1

1 地域部会の設置について

平成27年4月からスタートした子ども・子育て支援新制度に対応した教育・保育を一体的に行う認定こども園への移行を含めて、射水市公共施設等総合管理計画の基本的な考え方に従い、平成28年12月に「市立保育園・幼稚園の民営化方針」を見直しました。

この方針の「施設の統廃合を含めた民営化を検討する要件」に該当する場合は、「特定教育・保育施設のあり方を検討するための地域部会設置要領」（以下「地域部会」という。）に基づき、当該保育園の今後のあり方について検討するため、地域部会を設置するものです。

－ 『市立保育園・幼稚園の今後の民営化方針』から抜粋 －

(1) 基本方針

現在の利用定員90人以上の市立保育園¹は、市子ども・子育て支援事業計画で定めた教育・保育提供区域²に、入園状況や社会情勢、それぞれの地域のセーフティネットの役割等を踏まえ、概ね1箇所程度を市立保育園として存続し、民営化を進める。なお、南東地区においては、現在、在園する園児総数の約4割を占めていることから、市立保育園2園を存続させるよう考慮する。

(2) 施設の統廃合を含めた民営化を検討する要件

市立保育園及び幼稚園の民営化については、集団保育が困難となる場合や施設の老朽化等に伴う等、保育環境の改善が必要となる場合は、他の保育園及び幼稚園との統廃合を基本とし、次の判断基準に基づき施設の存続のあり方等の協議を進める。

- ① 施設の老朽化に伴う改築や大規模改修等が早期に必要な場合
- ② 入園児童数が、2年連続して年度初日において概ね30人を下回り、かつ3歳以上児が20人を下回った場合。ただし、地理的条件や社会的条件等を考慮し、この民営化の対象から除く場合がある。

(3) 今後の進め方

施設の統廃合を含めた民営化を検討する要件に該当した場合は、平成28年10月11日に定めた「特定教育・保育施設のあり方を検討するための地域部会設置要領」に基づき、地域部会を設置し、当該区域の特定教育・保育施設のあり方に関する事項を検討するものとする。

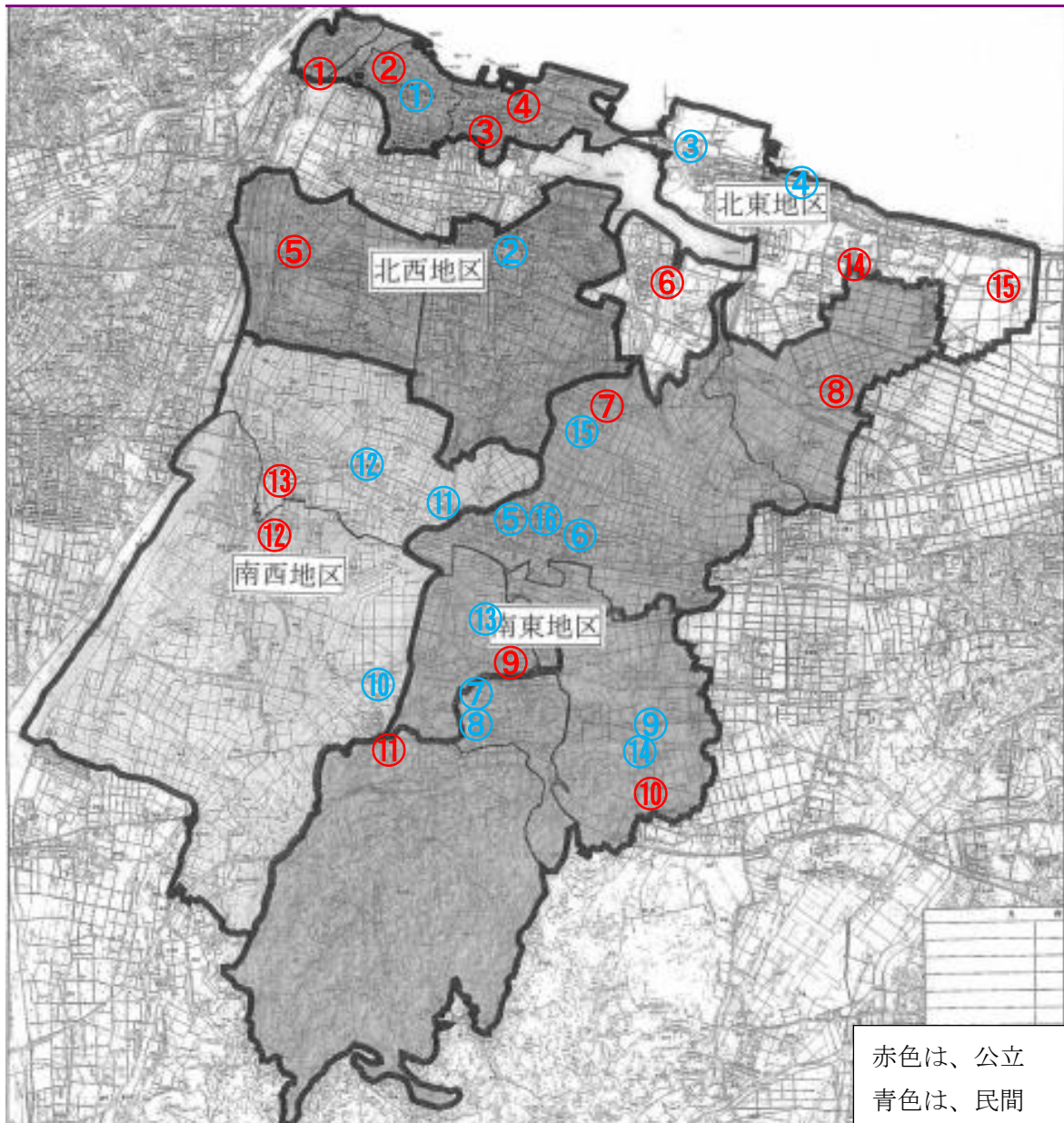
なお、検討結果については、その結果を議会に報告し、引受法人の募集を行うものとする。

1) 市立保育園13園のうち利用定員90人以上の保育園は、塚原、片口、大江、千成、大門きさら保育園

2) 教育・保育提供区域とは、①北西地区（新湊中学校区、新湊南部中学校区）、②北東地区（射北中学校区）、③南東地区（小杉中学校区、小杉南中学校区）、④南西地区（大門中学校区）

本市では、子ども・子育て支援事業計画において「北西地区」、「北東地区」、「南西地区」、「南東地区」の4つの教育・保育提供区域を設定し、地域の実情に応じたサービスを提供しています。

「教育・保育提供区域」図



①新湊西部保育園	②新湊保育園	③放生津保育園	④八幡保育園	⑤塚原保育園
⑥片口保育園	⑦大江保育園	⑧下村保育園	⑨千成保育園	⑩池多保育園
⑪金山保育園	⑫大門きらら保育園	⑬大島南部保育園		
⑭七美幼稚園	⑮本江幼稚園	⑯大門わかば幼稚園		
①新湊中部保育園	②新湊作道保育園	③堀岡保育園	④海老江保育園	⑤小杉西部保育園
⑥小杉東部保育園	⑦杉の子保育園	⑧あいあい保育園	⑨黒河保育園	⑩水戸田保育園
⑪大島つばさ保育園	⑫射水おおぞら保育園	⑬認定こども園太閤山あおい園	⑭富山オレンジリー	
⑮あおい幼稚園	⑯第三あおい幼稚園			

2 市立新湊西部保育園及び新湊保育園の現状と課題について

新湊西部保育園は、昭和52年に開設し築39年を経過しています。

また、新湊保育園も昭和54年に開設し築37年を経過し共に老朽化が進んでいます。

近年の少子化進行に伴い、在園児数の減少も顕著に表れており、子どもたちにとって望ましい環境づくりを検討しなければならない状況となっています。

(1) 建物の状況

(構造凡例 RC：鉄筋コンクリート造)

施設名	建築年度	経過年数	総延床面積	構造
新湊西部保育園	S 5 2 年	3 9 年	5 8 6 m ²	R C
新湊保育園	S 5 4 年	3 7 年	1,0 0 7 m ²	R C

(2) 入園児童数の推移

(各年4月1日現在) 単位：人

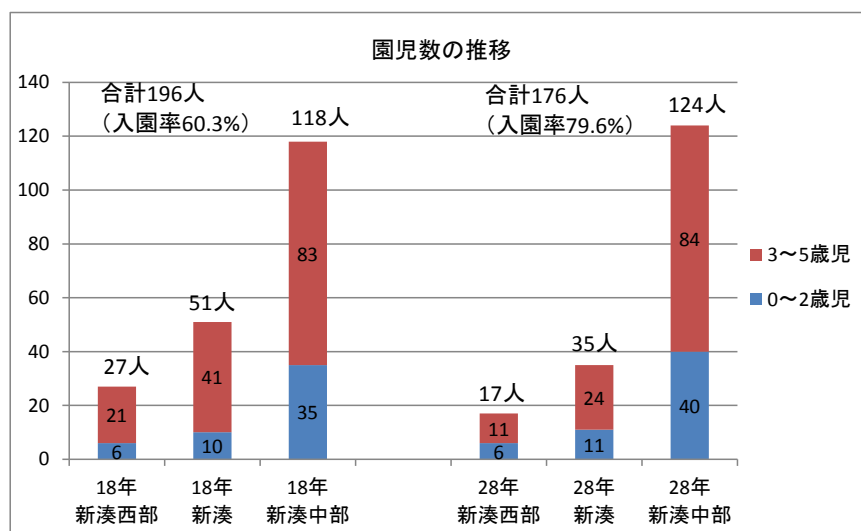
園名(定員)	区分	18年	24年	25年	26年	27年	28年
新湊西部保育園 (30人)	0～2歳児	6	9	5	5	5	6
	3～5歳児	21	17	16	13	14	11
	計	27	26	21	18	19	17
新湊保育園 (60人)	0～2歳児	10	11	11	11	11	11
	3～5歳児	41	39	34	27	29	24
	計	51	50	45	38	40	35
合 計 (90人)	0～2歳児	16	20	16	16	16	17
	3～5歳児	62	56	50	40	43	35
	計	78	76	66	56	59	52

注) 各年度の入園児童数は、他市からの広域入所児童数を除いています。

参考

園名(定員)	区分	18年	24年	25年	26年	27年	28年
新湊中部保育園 (150人)	0～2歳児	35	48	48	44	46	40
	3～5歳児	83	89	90	92	91	84
	計	118	137	138	136	137	124

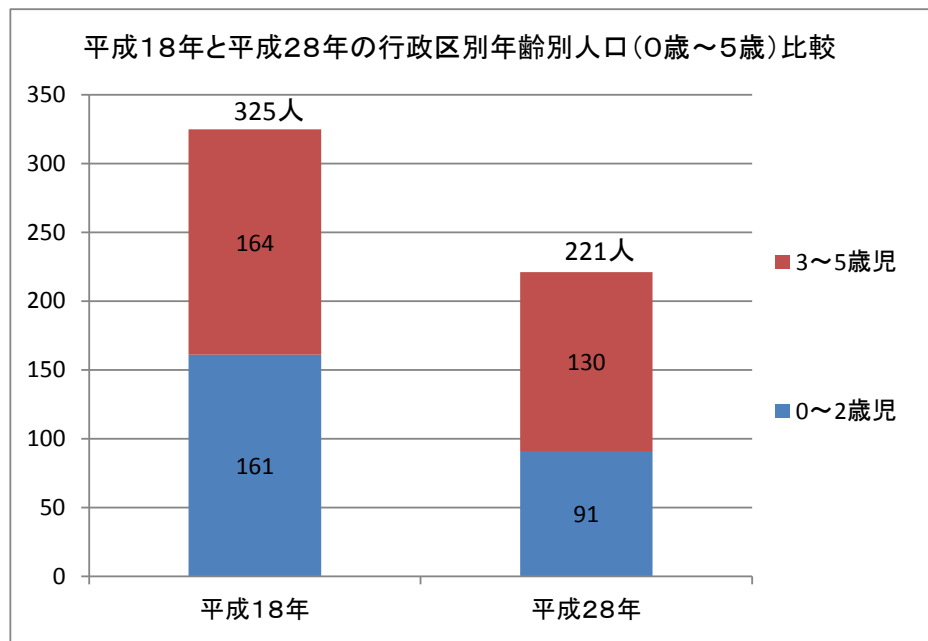
注) 各年度の入園児童数は、他市からの広域入所児童数を除いています。



(3) 平成28年行政区別 年齢別人口（0歳～5歳）（4月1日現在）単位：人

	庄西町 1丁目	庄西町 2丁目	港 町	庄川 本町	本 町 1丁目	本 町 2丁目	本 町 3丁目	放 生 津 町
0歳児	2	0	2	2	2	1	0	2
1歳児	0	0	5	4	2	2	0	0
2歳児	4	1	3	4	1	3	1	0
3歳児	1	2	6	3	3	2	1	2
4歳児	5	0	4	4	3	1	2	4
5歳児	3	3	4	2	1	4	4	1
計	15	6	24	19	12	13	8	9

	中央町	桜 町	西新湊	三 日 曾 根	善光寺	緑 町	合 計
0歳児	2	3	4	5	3	3	31
1歳児	3	3	3	4	2	3	31
2歳児	1	2	4	0	4	1	29
3歳児	0	2	3	5	6	2	38
4歳児	8	0	0	6	4	4	45
5歳児	2	1	8	2	9	3	47
合 計	16	11	22	22	28	16	221



3 両園の今後のあり方について

(1) 現状と課題のまとめ

① 施設について

新湊西部保育園は、耐震基準は満たされていますが外壁等の剥がれなど施設の老朽化が進んでいます。

一方、新湊保育園は、新湊西部保育園より築年数が若いですが耐震基準を満たしていないことから、早急に耐震補強が必要となっています。

また、雨漏りや外壁の剥がれがあり毎年修繕費も嵩んできています。

② 入園児童数について

新湊西部保育園は、平成26年度から入園児童数（園全児童数）が20人を下回っています。

一方、新湊保育園は、同様に入園児童数が減少してきおり平成28年4月現在の3歳以上の入園児童数は24人となっており、数年後には20人を下回ることが予想されます。

(2) 新湊西部保育園と新湊保育園のあり方を検討するための地域部会の設置について

このようなことから、新たな民営化方針の統廃合を含めた民営化を検討する要件に該当しますので、両園の今後のあり方について、この地域部会で検討する運びとなりました。

(3) 両園の今後の方向性について

① 両園の保育環境については、一般的に集団生活が必要とされる3歳以上児の減少が著しく、子ども達の育ちを考えると、現在、交流事業も行っている新湊西部保育園と新湊保育園の統合が望ましいと考えます。

② 園舎については、共に老朽化しており大規模改修又は改築が必要なことから、旧新湊中学校（旧新湊西部中学校）跡地に、新たに統合保育園等として、民間活力を活用（民営化）し、新設することが望ましいと考えます。

③ 北西地区には民間を含めた幼稚園がないことから、この地区の幼稚園需要を満たすため、認定こども園として整備することが望ましいと考えます。